

地域づくり人材育成講座2019

第1回

2019年11月11日(月)

14:00~16:00

20年先を見据えた 住民自治と郷土史防災

主催：上田市

共催：公立大学法人 長野大学



オープンデータ宣言 CC-BY (クレジット表示)

この資料はCreative Commons 4.0に基づきライセンスされます。[\(http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/\)](http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/)。
出典を表示することを条件とし、複製、改変、営利目的での二次利用も許可します。

講座構成(全5回)

- **第1回 11/11(月)**
20年先を見据えた住民自治と郷土史防災
- **第2回 11/22(金)**
行政と市民と若者が手を取る防災を考える
- **第3回 11/29(金)**
防災における行政と市民の協働—情報の共有と提供—
- **第4回 12/06(金)**
ジブンゴトの災害情報共有
- **第5回 12/13(金)**
「防災」から地域づくりをどう進めるか

本日の講座内容

20年先を見据えた住民自治と郷土史防災

- 14:00 開講式
 - 上田市市民参加協働部
- 14:05 20年先を見据えた住民自治
 - 前川道博 長野大学企業情報学部教授
- 14:30 住民自治は防災から～郷土史防災のすすめ～
 - 増田和順 協働プラットフォーム常務理事
- 14:55 休憩
- 15:00 グループワーク 住民自治と防災の課題
- 15:20 グループごとの報告
- 15:40 意見交換、質疑応答
- 16:00 終了

地域づくり人材育成講座2019

第1回

20年先を見据えた住民自治

2019年11月11日



前川道博

長野大学・企業情報学部

講座を始める前に

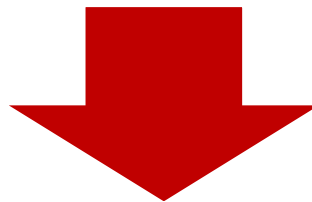
- **講座の記録はネットに公開し、これから学ぶ市民が事後に参照できる情報源とします**
 - 対象：テキスト、講座・グループワーク等のビデオ・画像記録
- **毎年の講座は情報の本棚「デジタルコモンズ」に蓄積され、知識が後世に残されます**
- **記録はオープンデータ宣言再利用可能にします**
 - CCライセンス CC-BY クレジット表記し再利用可
- **あらかじめ著作権、肖像権のご承諾を**

地域防災を考える前に… すっきりしない「住民自治」

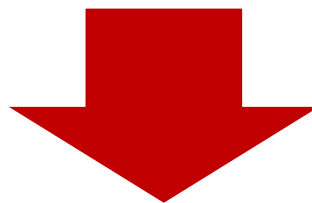
- ・ **そもそも住民自治とは何か**
- ・ **住民自治と住民自治組織の関係**
- ・ **自治会、自治会連合会、住民自治組織の違い**
- ・ **意思決定しにくい地域課題解決がある**
- ・ **「地域内分権」がある**
- ・ **「市民協働」もある**
- ・ **「ボランティア」もある**
- ・ **「社会奉仕」もある**
- ・ **それ以上に行政任せという根強い文化がある**

自治会の課題と解決の方向性 (上田市の説明によると)

- ・ 高齢化に伴う担い手不足
- ・ 社会情勢の変化や住民ニーズの高まり



- ・ 単一の自治会では解決できない課題が増加
- ・ 予算的な理由等で実施できない事業が増加



- ・ 自治会と住民自治組織が分担し課題解決

「住民自治組織」を活かす

- ・ 自治会を核としながら各種団体が参画・連携
- ・ 地域課題の解決に取り組む
- ・ 地域の特色を生かしたまちづくりに取り組む
- ・ **平たく解釈すると…**
 - 国の号令が市町村に降りてきている(上意下達)
 - 自治会を横断・包摂する
 - 自治を緩やかに住民自治組織(有志連合)に代替・並置させる



行政の都合はともかく

本来の住民自治に住民主体で踏み出す絶好のチャンス

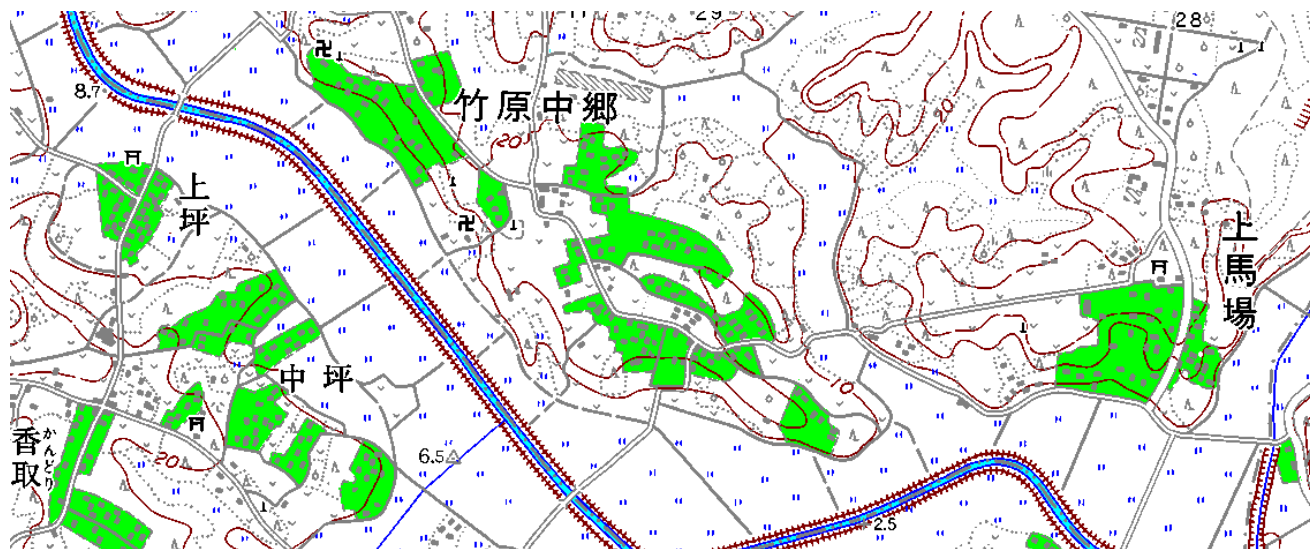
今の「事始め」は20年先に受け渡す試金石になっていく

上田市の住民自治組織

- ①神川まちづくり委員会 R1年6月
- ②西部地域まちづくりの会 H30年6月
- ③城下まちづくり未来会議 H29年6月
- ④川辺泉田まちづくり協議会 H29年5月
- ⑤神科まちづくり委員会 H28年5月
- ⑥豊殿まちづくり協議会 H28年7月
- ⑦塩田まちづくり協議会 H29年6月
- ⑧川西まちづくり委員会 H28年3月
- ⑨丸子まちづくり会議 H28年3月
- ⑩真田の郷まちづくり推進会議 H29年7月
- ⑪住みよい武石をつくる会 H29年3月

背景の要因：地縁→社縁→|縁

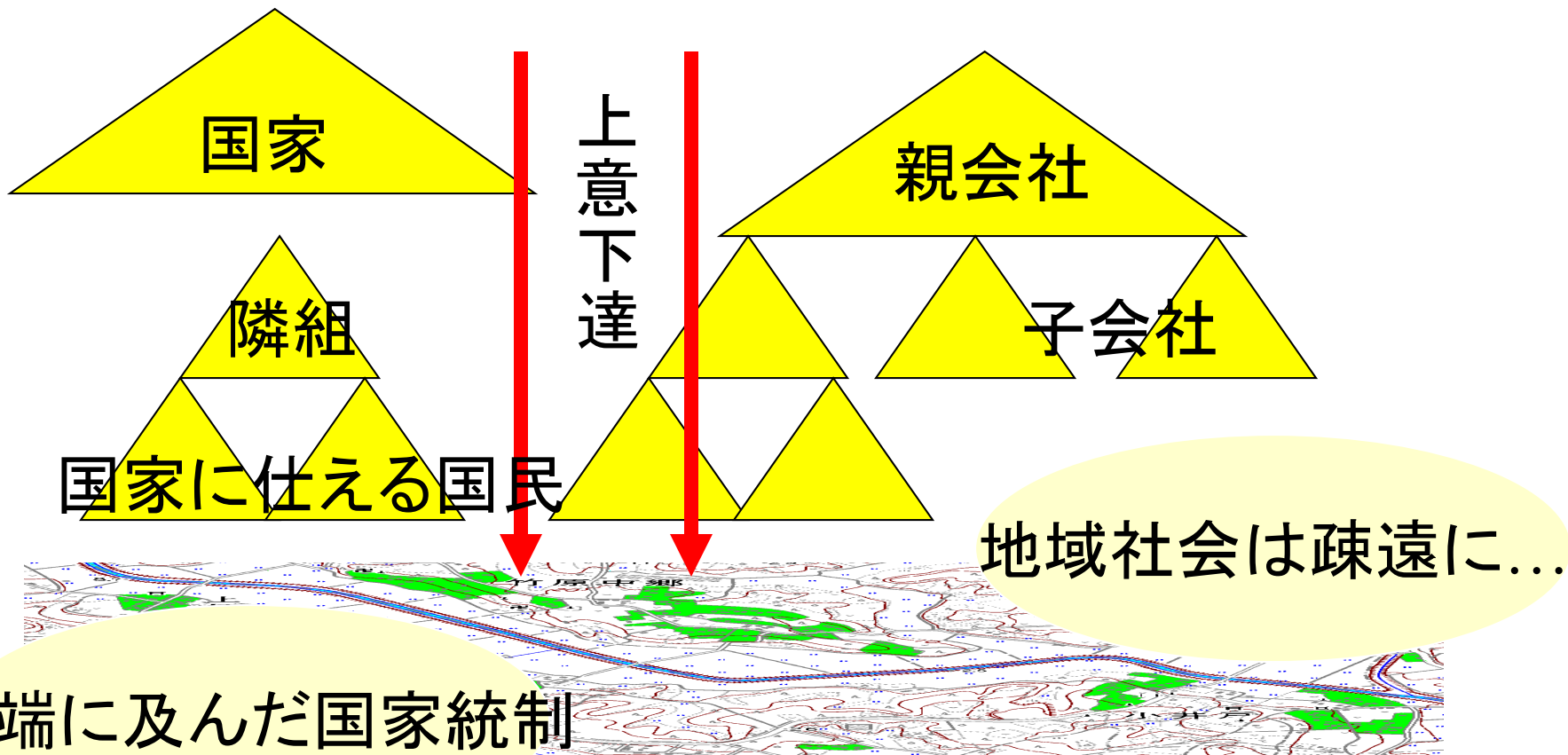
- ・ **地縁型社会 → 社縁型社会 → |縁型社会**
 - 集落(ノード)が出来て、道(パス)でつながる
 - 連綿と続いた地域社会が関係性希薄な「ベッドタウン」に
 - ネット社会になり、「有志連合型」の緩い地縁型社会に



前川道博「地域コミュニティ活動の重要性とその意義」
(2002/07/13)から (山形県新庄市で講演)

背景の要因：上意下達

・昔、隣組があった



前川道博「地域コミュニティ活動の重要性とその意義」
(2002/07/13)から

地域社会の変容

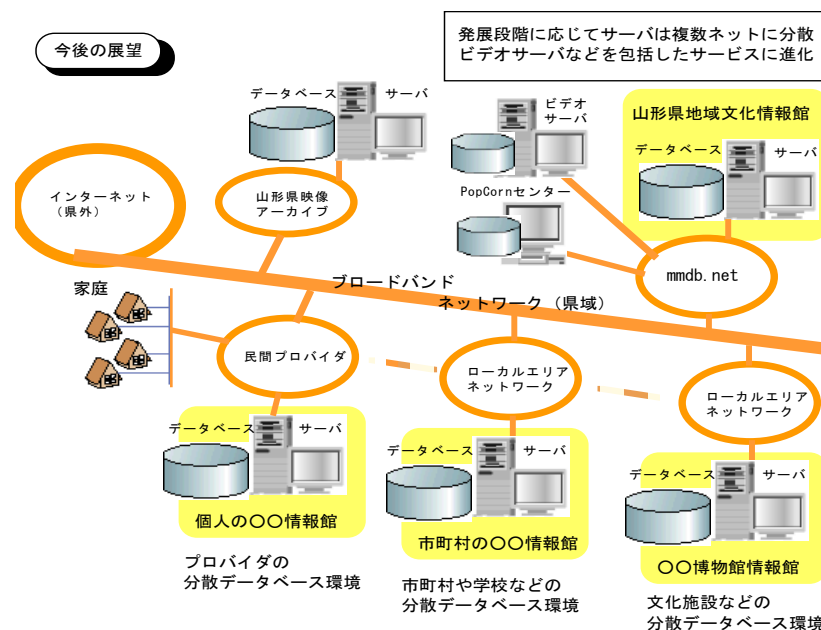
- **ネットワークモデル: 自律分散でオープン**
 - 個人・団体・地域は本来自律分散
- **隣組モデル: 上意下達でクローズド (closed)**
 - ヒエラルキーを持つ「隣組」→「町内会 / 自治会」
 - 会社中心の社会へ移行し地縁は疎遠に
 - 主な役割は回覧板(上意下達の情報媒体)の回覧
- **地縁型から緩やかな地域間のコミュニティへ**
 - 自由意思による学習・趣味などのサークル
 - 学校と地域の新たなつながり
 - 地域の壁を超えたつながり

新たな地域コミュニティ創造の課題

- ・ 私たちの社会から喪失した価値の発見
 - 「私」と「地域」の関わりに何があるか？
- ・ 皆が面白いと思えるしかけ作り
 - やりたいことのない人に「興味」を発見してもらう
 - 「これならできる」というITソリューションを提供
- ・ 知識社会実現に向けたソフトな「構造改革」
 - IT/ホームページを目的化しない文化
 - 主体的な生き方の発見
 - ITをツールとしたコミュニティの再構築

市民参加型ネット、楽しく協働学習

- ・ やりたい人がそれぞれにやりたいことを企画
- ・ 仲間をみつけてコミュニティの輪を広げる
- ・ ネット上に調べたことをどんどん公開
- ・ 学校の週休2日を活用しよう！

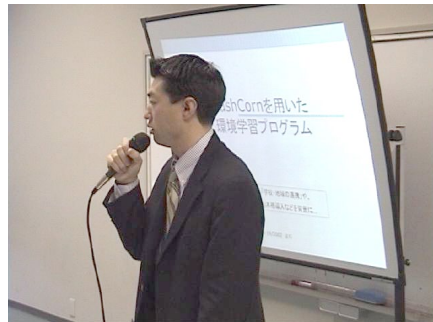


前川道博「地域コミュニティ活動の重要性とその意義」
(2002/07/13)から

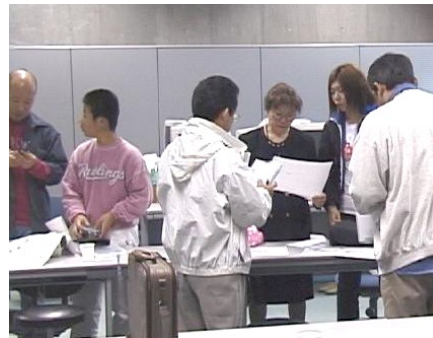
遠い伏線「楽しく協働学習」

- ・ 楽しく協働学習「環境学習編」2002/5実施
- ・ 子どもから大人まで みんなで楽しく、境界なく

1日目：講義と環境調査



環境学習のレクチャー



準備をしてフィールド調査へ



フィールドに出かけ、環境をデジカメで記録

2日目：実習



環境レポートをPushCornで制作



わからないことは学生スタッフがサポート



自分の環境レポートを発表

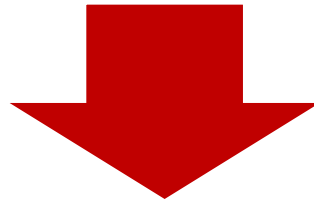
前川道博「地域コミュニティ活動の重要性とその意義」
(2002/07/13)から

今こそ始まる「住民自治」

- ・ いきなり始まった「住民自治組織」
- ・ 行政主導による「住民自治」って変でない？
- ・ 主役は住民、行政は縁結び
- ・ 地域に「コミット」し地域を「面白く」
 - ジブンゴトの地域課題解決 難しいから面白い
 - 自分の生きがいづくりが地域に貢献していく
 - 共感できる仲間(有志)を増やしていく
 - 断絶した世代間の壁を超える知恵、工夫

本題：住民自治の課題

- ・ 地域にコミットしようがなくなっている
- ・ 地域内のコミュニケーションが希薄化
 - 多くの住民が地元と関わることがない
 - 地元の人たちの顔を知らない、つながりがない
 - 世代間の交流がない
 - 行政と市民との関係は？



- ・ **20年先を見据えた住民自治を**
 - コミュニケーションを楽しむ
 - 課題解決は分散的であつ総合的・横断的に
 - これからの「地域防災」をどう進めるか

住民自治は自分たちが楽しむことから 「西部地域マップづくり」

- ・ 西部地域まちづくりの会：自然・生活環境部会
「地域の資源をマップに落とし後に残そう」



2018/08/24部会

この楽しみ方はタダゴトではない！



壁の一つは慣習にある

紙よりデジタル
マップが楽ですよ

2018/08/24部会

地域を皆で記録→ネットで共有



お互いの地域を
訪ね合うのは面白い



学生と協働
発信までできた！

2019/05/22部会

信州デジタルコモンズ

みんなで見合える地域の本棚がいるよね

地域の学（知識）と活動・記録 を載せ合える「ネット上の本棚」



防災こそ共有したい情報

皆で出し合う情報
が役立つ時代に

古舟橋→

←橋は通行止め

橋桁の下→

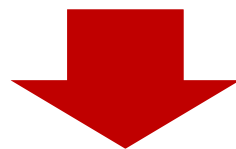
橋桁に接して踊る川面→

(千曲川の濁流)

2019/10/12-13
前川による記録



危険個所、安否、リアルタイム情報、避難場所、被災状況



地域を越えて情報を共有するメディア
(信州デジタルコモンズ)

地元のアーカイブ「信州上田マップ」 地域の情報を100年後に残す

- ・ **地域の情報をみんなで大切に育てていく**
- ・ **防災・歴史・文化・教育・産業・自然など何でも**
- ・ **地域活動・地域学習の支援・保障**
 - 顔が見える関係で地域のアーカイブができる
 - 研修会、仲間、身近なところで協働できる
 - データを預けると安全に永続的に保管できる
(SNSではできないこと)
 - 地域活動・地域の多様な情報が可視化される
- ・ **地域づくりで共有するメディア環境**

20年先を見据えた住民自治

- ・「防災」をモデルテーマに住民自治で何ができるか、有効かを検討評価する
- ・次世代に受け渡す参加とコミュニケーション
 - 次世代が参加したい「面白さ」「内発的動機」
- ・世代や場所を超えた情報・お互いの共有

グループワーク

住民自治と防災の課題

- 15:00 グループワーク 住民自治と防災の課題
- 15:20 グループごとの報告
- 15:40 意見交換、質疑応答

グループワーク

- ・ 1班 城下まちづくり未来会議
- ・ 2班 神科まちづくり委員会
- ・ 3班 塩田まちづくり協議会
- ・ 4班 川西まちづくり委員会
- ・ 5班 西部地域まちづくりの会
川辺泉田まちづくり協議会
- ・ 6班 神川まちづくり委員会
真田の郷まちづくり推進会議
住みよい武石をつくる会